

Together

徳島県立穴吹高等学校
 人権啓発新聞
 Together
 2015年12月22日 発行
 ヒューマンライツ部 第2号

2015年ももうすぐ終終わろうとしています。今年は日本国内外で様々な変動があり、人と人の助け合いについて考えさせられる機会が多くなりましたね。誰かを思いやることは出来ましたか？

さて、今回のTogetherでは9月～12月の人権行事を中心に紹介していきます。これを機に普段の生活の中での人との接し方をもう一度見直せたらいいなと思います。



校内人権意見発表会

11月26日(木)、人権意見発表会を行いました。1,2年生のクラス代表6名がすばらしい発表をしてくださいました。印象に残った言葉はありましたか？この機会に、自分の行動や発言を振り返ってみましょう。

11HR	栗尾 廉大	身近な人権
12HR	北尾 翔汰	人の役に立つこと
13HR	党 文博	「ありがとう」
21HR	小泉 麗	価値観の違い
22HR	森下 七瀬	社会の中で生きること
23HR	中谷 夏実	ヒューマンライツ部で学んだこと



- 意見を聞いて 今までよりさらに人と接する時は「相手の立場になって考える」という気持ちを強く持とうと思いました。(1年女子)
- 今から自分のできることは、障がいのある人たちと仲良くし、支えていくことです。(1年男子)
- 自分の周りのありがたいことにもう少し目をかけて、何かにしてもらったら「ありがとう」。してもらったらお返しをする。と、周りの人にも、感謝して、言葉にして伝えられたらいいなと思いました。(1年女子)
- ありがとうの一言、相手と自分との考え方の違いなど考えなかったことがたくさんありました。(2年男子)
- 外見・口調・うしろさなどで勝手に決めつけ、深く考え大切な物を人を失うといったようになるんだと僕は思います。(2年男子)
- これからは、友達が悪口を言っているのを聞き流さず、その子がどんな子かを知って分かり合うことが大切なんだと思いました。(2年女子)
- 障がいのある人を見て「気持ちが悪い」、「うざい」と言っている人を見かけるとその人の人間性をうたがいます。それに、バカにしている友人がいれば絶対に注意していきます。(3年男子)
- 1人だけでは、何もできないという事を改めてこの人権意見発表会を聞いて、みんなの役に立って「ありがとう」の言葉が言いたいです。(3年女子)
- 言葉遣いに気をつけることを心がけ 友達を大切に、今を大切にして生活していきたいです。(3年男子)

校内人権の日(2学期)

人権学習ホームルーム活動(2学期)

第5回

「難民について」
 難民問題について考えることで、平和や戦争を自分の問題としてとらえることができた。日本が難民に対してどのように接すればよいのかを考える機会になった。

第6回

「個人情報について」
 個人情報とは何か、個人情報が流出したりしないようにどんなことに気をつければよいのかを考えた。なにげない行動が自分や他人の個人情報をもらってしまうことを知り、日常生活で自分ができることを改めて学ぶことができた。

第7回

「校内人権意見発表を聞いて」
 お互いを高めあうような友達関係やクラスを作っていくためには感謝の心を忘れずに行動することが大切ではないかと感じた。

第8回

「権利と自由の違い」
 権利とは、互いの自由を認めあうことであり自分の権利を主張することも大切なことだが他人の権利も認めることが大切だと思った。

1年

「穴高人権かるたを考えよう」
 みんなで、人権かるたを考えよう。人が言われて本当にうれしい言葉をたくさん聞くことができた。

2年

「水平社宣言について」
 水平社は、人はみんな平等であることを伝えよう、みんなが団結しようと声をあげたことを知った。本当の苦しみをよくわかっている部落民だからこそ、強く生きる喜びが分かるのだと思った。

3年

「バリアについて考えよう」
 段差などの物理的バリアをなくするとともに、障がいがあるからと差別する気持ちや偏見のまなざしなどの代理的バリアをなくするために私たち一人ひとりが考えたい。

「外国人の入浴おことわり!？」
 私たちも外国へ行けば外国人になるわけだから、見た目や言葉が異なるだけで拒否するのは間違っていると思った。

「結婚差別①」「結婚差別②」
 結婚差別について勉強するなかで、自分の価値観についても深く考えることができた。これから社会に出て、いろいろな人と出会うとき、自分も相手も大切にできるような判断をしたいと思う。

ヒューマンライツ部の活動報告



私たちは「中・高生による人権交流事業」西部ブロックの活動に参加しています。

今年度は、「ハンセン病」について学習するために、8月には大島青松園を訪問し、回復者の方からお話をうかがいました。青松園は、施設という感じがあまりなくて一つの町のような雰囲気でした。お話を聞いた後、私はふと思いました。本当に恐ろしいのは、病気が感染することではなく、差別の心を持つてしまうことなのだ。

12月20日(月)に開催される「中・高生による人権交流集会」では、県内の中・高生と交流するに学びを深めたいと思います。

10月26日(月)と12月10日(木)穴吹小学校に読み聞かせ活動に行かせていただきました。穴吹高生が制作した防犯紙芝居「さくらちゃんやさくらわんぱく」やハロウィン、クリスマスモチーフにした絵本を読んで、子どもたちと交流を行いました。子どもたちがたくさん反応してくれて、楽しい時間を過ごすことができました。

